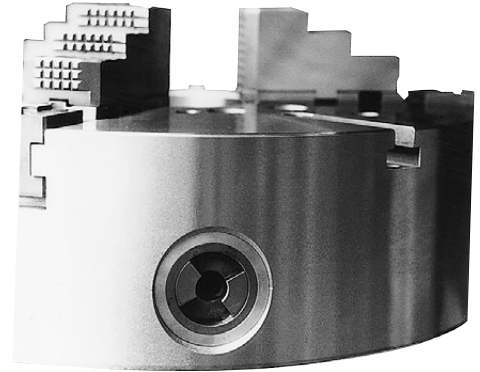


# パワーレンチ及びパワーレンチチャック

POWER WRENCHES AND POWER WRENCH CHUCKS

## 自動化・省力化

- スクロールチャックのピニオンを手動でなく、油圧パワーレンチ装置により自動締め付けを行うシステムです。
- 当社のすべてのスクロールチャックに対し、特別仕様として付加することが可能です。

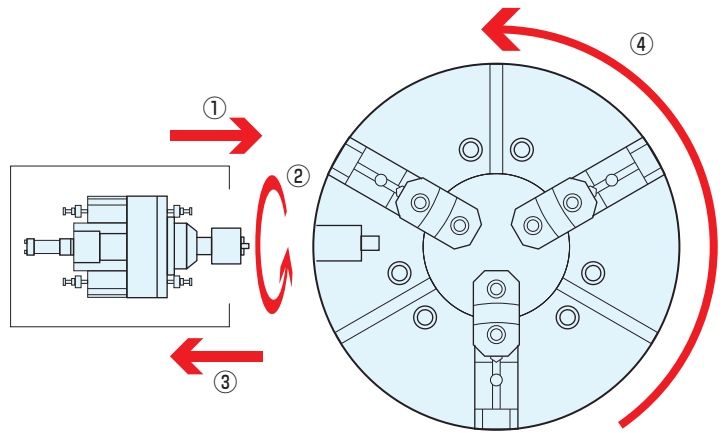


## 動作方法

- ① パワーレンチ先頭部が回転しながら前進
- ② レンチがチャックピニオンに連結しピニオンを回転
- ③ ツメが移動後、レンチが後退
- ④ チャックが回転を開始

- パワーレンチは油圧2系統により動作します。  
(レンチ前進/後退、レンチ正回転/逆回転)
- レンチの回転は油圧モータにより行われる。

油圧源・レンチ動作用のソフトウェアは付属していないので貴社で作成してください。



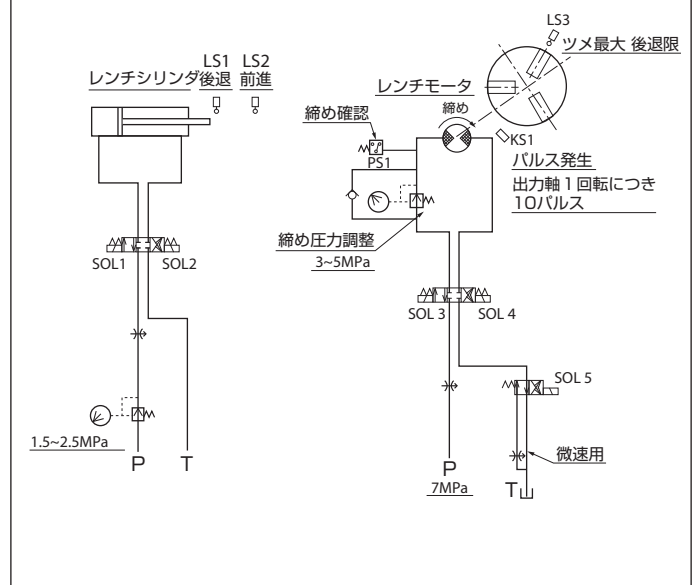
## 特に効果的な機械

- パレットチェンジャ仕様の機械や5軸機で油圧源を容易に得られないシステム。
- 大貫通穴が要求されるワークを加工する機械での使用。
- 長いツメストロークが要求されるために、油圧チャックを使用できない場合の自動化システム。

## 使用上の注意

- 油圧源・レンチ動作用のソフトウェアは付属していないので貴社で作成してください。
- 自動運転の条件として、下記を実施していただく必要があります。
  - A 主軸位置停止 (外周で±0.5mm)
  - B チャックツメ後退確認用リミット SW の取付
  - C レンチ動作油圧機器 (右記油圧回路図参照)
  - D レンチ制御用シーケンス回路  
(参考フローチャートは当社まで問い合わせ願います。)
- チャック締め付け確認は通常圧力スイッチにて行っていただいておりますが、環境の悪い場合や完全無人化の場合にはエンコーダ付パワーレンチを採用し、レンチ回転のパルス数と圧力スイッチのAND回路にて確認を取ることを推奨しております。

### 油圧回路 (参考)

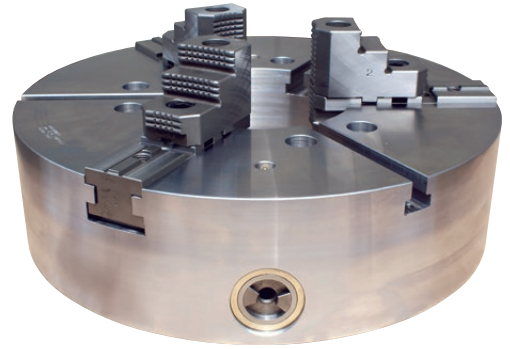


# パワーレンチチャック

36 SERIES

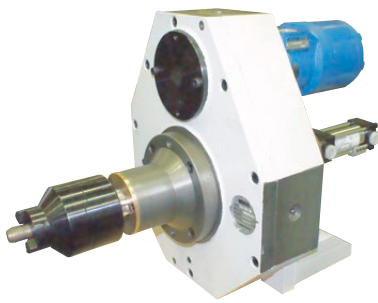
- パワーレンチでの作動を目的に設計されたチャックです。
- 当社の他のスクロールチャックをパワーレンチ対応仕様に変更可能

※一部のチャックはパワーレンチ対応仕様に変更することにより、チャック形状が変わる場合があります。



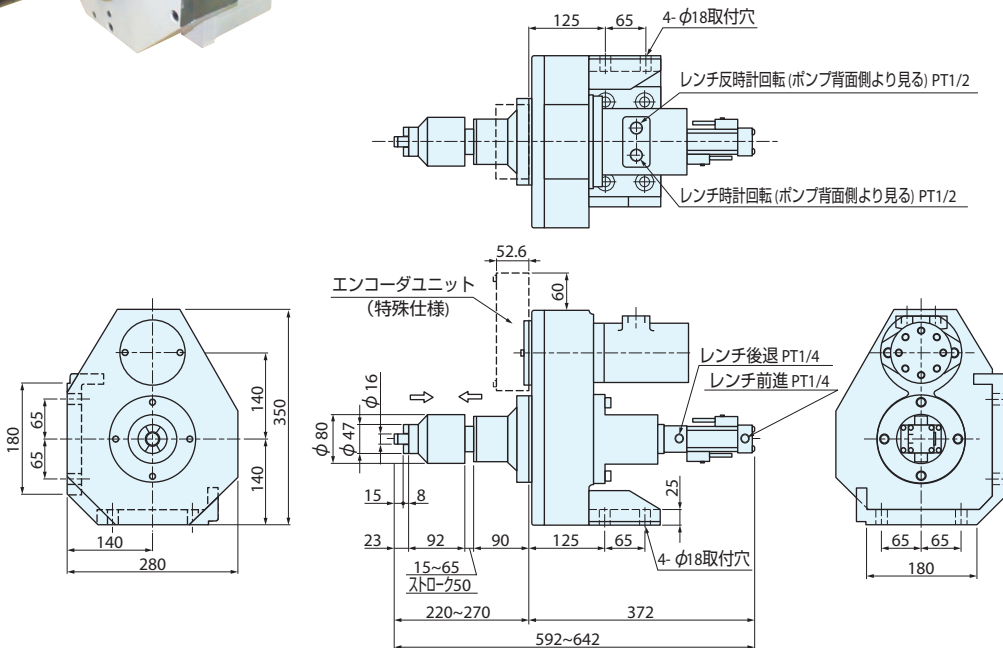
# 油圧パワーレンチ

PW SERIES



【特長】

- 使用圧力によって締付のツメ推力が変更可能
  - ツメ移動スピードが油流量によって変更可能
  - パワーレンチの大きさがコンパクトで取付方法は上・下・横どの方向でも可能。
- ※エアブロー仕様、エンコーダ付仕様もございます。



■ 仕様表

型式番号	PW-H16	PW-H19	PW-H24	PW-H38
レンチトルク (油圧力7.0MPa時)	372.4 N・m (38 kgf・m)	441 N・m (45 kgf・m)	510 N・m (52 kgf・m)	764 N・m (78 kgf・m)
回転速度	57 min <sup>-1</sup> (油流量25L/min時)	42 min <sup>-1</sup> (油流量20L/min時)	31 min <sup>-1</sup> (油流量25L/min時)	27 min <sup>-1</sup> (油流量25L/min時)
レンチ前後ストローク	50 mm	50 mm	50 mm	50 mm
レンチ回転使用圧力 (チャック締め付け時)	2.0~7.0 MPa (20~70 kgf/cm <sup>2</sup> )	2.0~8.0 MPa (20~80 kgf/cm <sup>2</sup> )	2.0~7.0 MPa (20~70 kgf/cm <sup>2</sup> )	2.0~7.0 MPa (20~70 kgf/cm <sup>2</sup> )
レンチ前後使用圧力	1.5~2.5 MPa (15~20 kgf/cm <sup>2</sup> )	1.5~2.5 MPa (15~20 kgf/cm <sup>2</sup> )	1.5~2.5 MPa (15~20 kgf/cm <sup>2</sup> )	1.5~2.5 MPa (15~20 kgf/cm <sup>2</sup> )
装置重量	75 kg	75 kg	75 kg	75 kg

ご要望により電動パワーレンチも設計製作いたします。